

平成21年8月25日

## 平成21年8月の定例自然観察会 実施報告書

### 「裏六甲の秘境・水無谷探訪（熟練者向き）」

5班担当者 福本茂 堀池保子 長谷川友彦

1 実施年月日	平成21年8月8日（土曜日）快晴 猛暑
2 コース スケジュール	：神戸電鉄、有馬口駅(9:00集合)～集合後、林道通用門まで移動し参加者全員にコース（行程と熟練者向き等）・時間（昼食場所、解散時間） ・怪我等における自己責任の認識などを説明する。 ：林道通用門（9:30頃、出発）→水無川砂防堰堤→水無川第三砂防堰堤→水無谷→水無滝（11:10～30到着・昼食）→水無滝（12:10頃、出発）→往路の水無谷を戻り→林道通用門付近で解散（14:30頃）
3 担当及び分担	：集合時の受付(ビジター及び会員の受付と参加費徴収)並びに集合場所の誘導については、5班の担当者と会員に手伝っていただいた。 ：列＝①先導 堀池 ②前中間 舟木 ③後中間 福本 ④後部 長谷川 ：コースが熟練者向きであったことから、当参加会員には、できるだけビジター全員に目を配るよう努めてもらった。
4 参加者	：ビジター(一般参加)15名 :メンバー(会員)16名 <b>合計31名</b>
5 観察したもの (1) 植生	：別添資料（水無谷の植生）一枚のとおり、短い溪谷のコースにもかかわらず、色々な植草、樹木等が目につき、裏六甲の秘境ならではの数多い植生が観察できた。
(2) その他	：水無滝 一週間前の豪雨で水無滝が、水有滝に一変し、滅多にない滝の雄大な姿を見ることができた。 ：野鳥の鳴き声 谷の一番奥にある水無滝に辿り着いたとき、オオルリの美しい囀りに出会い感動した。が？ 実は、人間達の闖入に鳥の仲間達が警戒し鳴き叫んで、私達人間を追い出そうとしているのだそうです。
6 観察時の写真	：別添写真資料二枚のとおり観察会に参加された方々の集合写真や風景等を撮影した写真を貼付しております、参考として下さい。
7 反省点ほか (1) 良かった点	ア 熟練者コースであったことから豪雨の直後を含め数回に渡る下見を行い、全コースの危険ヶ所をチェックした上、増水のため泥沼化した地盤の整備と、通過道の障害となる草樹木を除去し得たこと。 イ 危険コースに対する会員のサポートが万全であったこと。 ウ ビジター参加者の内、登山中に男性の両靴底が剥がれてしまった、事や、下山途中の女性が熱中症状になるなどのハプニングにで遭ったが、これに適応できる装備品を当メンバー会員等が所持していたため早期に適切な処置ができたこと。
(2) 悪かった点	ア 自然観察会における難コースの設定方法の見直し。 イ 出発前に一通りの注意喚起を行ったが、夏場対策に対する水分確保と補給方法を説明するべきであった。 (熱中症状の女性は、500ccのボトル1本しか所持していなかった) ウ 季節に対応した適切な装備品の確保が急務
(3) その他	時間調整が上手く運び早めに終了した事や、イワタバコと滝の目玉商品でビジターも納得されたことが印象に残ります。但し、万一事故に遭遇すれば総て水の泡となるので、万事慎重に対処することを痛感した。